

## 教科目名 哲学概説 (Philosophy)

学科名・学年 : 全学科 5年 (教育プログラム 第2学年 ○科目)

単位数など : 選択 2単位 (前期1コマ, 後期1コマ, 授業時間 46.5時間)

担当教員 : 堀 栄造

授業の概要			
西洋現代哲学を概説する。プラグマティズムや新実在論や分析哲学といった英米哲学, 生の哲学や現象学や実存哲学といった独仏哲学について概観する。			
達成目標と評価方法		大分高専目標(A1), JABEE 目標(a)	
(1) 西洋現代哲学を概観することによって, 哲学的思考の仕方を理解する。(定期試験)			
(2) 我々にとって異文化といえる西洋的思考および西洋的文化に接し, 地球的視点から多面的に物事を考える力を身に付ける。(定期試験)			
回	授業項目	内容	理解度の自己点検
1	プラグマティズム (パース)	○パース, ジェイムズ, デューイの哲学について理解できる。 ○ラッセル, マッハ, ヴィットゲンシュタインの哲学について理解できる。 ○フォイエルバッハ, マルクスの哲学について理解できる。	【理解の度合い】
2	同上 (ジェイムズ)		
3	同上 (デューイ)		
4	新実在論 (ムア・ラッセル)		
5	分析哲学 (マッハ・ヴィットゲンシュタイン)		
6	弁証法的唯物論 (フォイエルバッハ)		
7	弁証法的唯物論 (マルクス)		
8	前期中間試験		【試験の点数】 点
9	前期中間試験の解答と解説 生の哲学 (ショーペンハウアー)	○ショーペンハウアーの哲学について理解できる。 ○ニーチェの哲学について理解できる。 ○ベルクソン, デイルタイの哲学について理解できる。 ○ボルツァーノ, プレンターノの哲学について理解できる。	【理解の度合い】
10	同上 (ニーチェ)		
11	同上 (ニーチェ)		
12	同上 (ベルクソン)		
13	同上 (デイルタイ)		
14	現象学 (ホルターノ・ブレンターノ)		
15	前期期末試験		【試験の点数】 点
	前期期末試験の解答と解説		
16	現象学 (フッサール)	○フッサールの哲学について理解できる。 ○シェラー, メルロー・ポンティの哲学について理解できる。 ○キルケゴール, ヤスパースの哲学について理解できる。	【理解の度合い】
17	同上 (フッサール)		
18	同上 (フッサール)		
19	同上 (シェラー)		
20	同上 (メルロー・ポンティ)		
21	実存哲学 (キルケゴール)		
22	同上 (ヤスパース)		
23	後期中間試験		【試験の点数】 点
24	後期中間試験の解答と解説 実存哲学 (ハイデガー)	○ハイデガーの哲学について理解できる。 ○サルトルの哲学について理解できる。 ○フロイトの精神分析学について理解できる。	【理解の度合い】
25	同上 (ハイデガー)		
26	同上 (サルトル)		
27	同上 (サルトル)		
28	精神分析学派 (フロイト)		
29	同上 (フロイト以後)		
30	後期期末試験		【試験の点数】 点
	後期期末試験の解答と解説		
履修上の注意	ノートをしっかり取ること。		【総合達成度】
教科書	プリント配布。		
参考図書			
自学上の注意	授業内容をそのつど復習すること。		
関連科目	哲学特論 I・II (専攻科), 倫理。		
総合評価	達成目標の (1), (2) について4回の定期試験により評価する。評価が60点以上を合格とする。再試験は, 総合評価が60点に満たない者に対して実施する。		